



## 各地で取り組まれるWHO世界保健デーまちかど健康チェック

### ・・・河西地区・・・

4月12日(火)、オークワ北バイパス店にて、診療所から総勢12名の組合員さんと職員で「WHO世界保健デーまちかど健康チェック」に取り組みました。今回で6回目のオーストリートでの健康チェックです。各店舗の入り口でチラシを配布し、平日の午後にかかわらず30名の方に健康チェックを受けていただきました。(右写真)



### ・・・那賀地区打田支部・・・

4/15(金) 那賀地区打田支部は、根来スーパー打田店で、WHO世界保健デーまちかど健康チェックを行ないました。天気はくもりのち雨の中でしたが、軒先とテント内で無事おこなうことができました。気温も温暖で少し蒸せた日となりました。机2台イス5台を近くのふるさと村で借りて診療所から数代イスを用意して行きました。震災募金も置きました。41名が受診、終了後ふるさと村の職員さん等9名と合わせて、50名でした。受付は地元の方がおこない、知ってる人に声をかけとどんと受診して頂きました。運営委員の友達が教室に参加していた方を引き連れて受診してくれました。今回のチェックの内容は、血圧測定 45名、体脂肪 46名、骨密度測定 45名 生活習慣チェック 30名でした。



## 第7次東日本大震災支援報告会

### みなさまから寄せられた義援金第1次分として200万円送金

4/11～16まで宮城県に支援した、生協病院調理師の冷水さんと薬剤師・加藤さんの報告会を4/19に行ないました。冷水さんは、現地診療所で、散乱したカルテの整理や地域に出て安否確認などの支援を行ないました。冷水さんは、被災された方に、どう言葉をかけていいのか迷ったそうです。「がんばってください」とは言えず、帰ってきてから、「同じ日本人として、一緒にがんばりましょう」という言葉かけが必要だったと感じたそうです。一方、加藤さんは、薬局で調剤の支援をしながら、避難所へ医師、看護師、薬剤師でチームとなって出かけ、薬の相談など被災された方と話をし、充実した支援ができたとのことでした。ただ、言葉の違いなどがあって、僕らの励ましの言葉が届いているだろうかと心配したそうです。病院から車で15分の海沿いの光景は、津波の爪あとが生々しく、鳥肌が立ったそうです。2人とも、機会があればまた、支援に行きたいと述べました。

## 2011年国民平和大行進に参加しましょう!!

### 最寄りのコースをみんなで歩きましょう



3月11日、東北地方を中心に甚大な被害を及ぼした東日本大震災が発生し、さらに福島第一原発事故が起こり、多くの人びとに痛みや悲しみ、不安と恐怖を与えています。地震・津波・原発事故の三重苦で苦しんでおられる被災者への支援を長期にわたって継続していくことが求められています。このような状況の下、被災された方々を激励しながら、医療・生活支援を継続しつつ、国民平和大行進が5/9から新宮を出発し、和歌山→広島コース(和歌山→三重→奈良→大阪→兵庫→岡山→広島)がはじまります。そして、国民が安心して暮らし、いのちと健康が守られるように、危険な原子力に頼らない日本のエネルギー政策の転換を求めていきましょう。

- ◇核兵器の全面禁止を求めてともに歩こう!
- ◇秋の国連総会へ核兵器禁止の声をとどけよう!
- ◇非核三原則を守ろう! 核も基地もない非核平和の日本を実現しよう!
- ◇ノーモア・ヒロシマ! ノーモア・ナガサキ! ノーモア・ヒバクシャ!
- ◇広島・長崎の被爆者、世界の核被害者と連帯しよう!
- ◇原水爆禁止2011年世界大会を成功させよう!

月日	自治体	場所	時間	自治体	場所	時間
5/27(金)	紀美野町	町役場前	17時30分			
5/28(土)	和歌山市	市役所前	10時30分	海南市	市役所前	17時
5/29(日)	岩出市	市役所前	10時	紀の川市	市役所前	14時